

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>						<b>3.6</b>
<b>Q-1 室内環境</b>			0.40			3.3
<b>1 音環境</b>		3.0	0.15	-	-	3.0
<b>1.1 騒音</b>		3.0	0.40	-	-	
1 1 騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
<b>1.2 通音</b>		3.0	0.40	-	-	
1 開口部通音性能		3.0	0.40	3.0	-	
2 界通音性能		3.0	0.30	3.0	-	
3 床通音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.15	3.0	-	
4 床通音性能(重量衝撃源)		3.0	0.15	3.0	-	
<b>1.3 吸音</b>		3.0	0.20	3.0	-	
		3.0	0.35	-	-	3.0
<b>2 気候環境</b>		3.0	0.50	-	-	
<b>2.1 室温制御</b>		3.0	0.60	3.0	-	
1 室温設定		3.0	0.60	3.0	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-	
4 ノーン別制御性		-	-	-	-	
5 湿度・湿度制御		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 時間外空調		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>		3.0	0.20	3.0	-	
<b>2.3 空調方式</b>		3.0	0.30	3.0	-	
		3.0	0.25	-	-	3.0
<b>3 光・視環境</b>		3.0	0.30	-	-	3.0
<b>3.1 昼光利用</b>		3.0	0.30	-	-	
1 昼光電		3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 グレア対策</b>		3.0	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
<b>3.3 照度</b>		3.0	0.15	-	-	
1 照度		3.0	1.00	3.0	-	
2 照度均斉度		-	-	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>		3.0	0.25	3.0	-	
		4.2	0.25	-	-	4.2
<b>4 空気質環境</b>		5.0	0.50	-	-	5.0
<b>4.1 発生源対策</b>		5.0	0.50	-	-	
1 化学物質汚染	学校環境衛生基準を満たし、F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用して	5.0	1.00	3.0	-	
2 F☆☆☆☆対策		-	-	-	-	
3 タンク対策		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>		3.0	0.30	-	-	
1 換気量	SHASE-S102-2003を満たし、建基法を満たす換気量の1.4倍以上	3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4 給気計画		-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>		4.0	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	建物内の禁煙化をしている	5.0	0.50	-	-	
<b>Q-2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-	3.5
<b>1 操作性</b>		3.0	0.40	-	-	3.0
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		3.0	0.60	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-	
2 高床・高天井設備対応		-	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>		3.0	0.40	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.50	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		3.2	0.31	-	-	3.2
<b>2.1 耐震・免震</b>		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		3.5	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2 内装内装仕上げ材の更新必要間隔	更新間隔を20年と想定している	3.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔	更新間隔を20年と想定している	4.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔	更新間隔を20年と想定している	4.0	0.29	-	-	
<b>2.3 適切な更新</b>		-	-	-	-	
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新		-	-	-	-	
2 配管・配線材の更新		-	-	-	-	
3 主要設備機器の更新		-	-	-	-	
<b>2.4 信頼性</b>		3.4	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	節水型器具を採用。配管は系統分けをしている。	5.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり		4.4	0.29	-	-	4.4
	1 階高のゆとり		4.2	0.31	-	-	
	2 階高を4050mmとしている		5.0	0.60	3.0	-	
	2 空間の形状・自由さ		5.0	0.40	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり		5.0	0.31	3.0	-	
	床許容荷重を5000N/m <sup>2</sup> としている		4.2	0.38	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.17	-	-	
	1 設備配線の更新性		4.0	0.17	-	-	
	2 給排水管の更新性		5.0	0.11	-	-	
	3 電気配線の更新性		5.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性		5.0	0.11	-	-		
5 設備機器の更新性		5.0	0.22	-	-		
6 バックアップスペース		4.0	0.22	-	-		
設備機器やダクト類の将来増設スペースを確保している		4.0	0.22	-	-		
Q-3 室外環境(敷地内)							
1 生物環境の保全と創出		水景や緑化をしている	4.0	0.30	-	-	4.1
2 まちなみ・景観への配慮		景観条例や地区計画整備区域に適した計画をしている	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地産性・アメニティへの配慮			4.5	0.30	-	-	4.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		外部空間に憩いの場を多く設けている	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内自然環境の向上		外部空間に緑の空間を多く設けている	4.0	0.50	-	-	
LR-1 省エネルギー・省資源性							
1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建物の断熱省抑制			3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用		ライトコートによる自然採光を取入れている	4.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			3.0	0.30	-	-	3.0
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
4.1 モニタリング		用途毎に電力計量を行っている	4.0	0.50	-	-	
4.2 運営管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル							
1 水資源確保			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器、センサー式水栓を採用している	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム			3.0	0.67	-	-	
2 雑排水利用システム			3.0	0.33	-	-	
2 資源確保			3.2	0.85	-	-	3.2
2.1 資源の再利用効率			3.0	0.35	-	-	
2.1.1 躯体材料の再利用効率			3.0	0.67	-	-	
2.1.2 非構造材料の再利用効率			3.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料			3.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性		内装仕上げ材に乾式工法を採用している	4.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回収			3.2	0.18	-	-	
2.6.1 消火剤		ハロン消火を採用していない	4.0	0.33	-	-	
2.6.2 断熱材			3.0	0.33	-	-	
2.6.3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境							
1 大気汚染防止			3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・振動の防止			3.0	0.15	-	-	3.0
2.1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2.2 振動			3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制			3.3	0.15	-	-	3.3
3.1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
3.2 日照阻害の抑制		敷地内最下部の建物を基準に地盤設定し、日影図を作成しクリア 南地から離れた位置に建築し、光害を起さないようにする	4.0	0.30	-	-	4.0
4 光害の抑制			4.0	0.10	-	-	4.0
5 環境負荷低減の改善			3.0	0.30	-	-	3.0
6 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.15	-	-	4.0
6.1 雨水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
6.3 交通負荷抑制		敷地内に十分な駐車場と駐輪場を設けている	5.0	0.25	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷		廃棄物置場を設け、分別回収している	5.0	0.25	-	-	
■ LR-1 用途別得点表							
		学校	-	-	-	-	面積按分 総合スコア
		18066 m <sup>2</sup>	-	-	-	-	
1 建物の断熱省抑制		3.0	-	-	-	-	3.0
3 設備システムのERRIによる評価		4.0	-	-	-	-	4.0
高効率化 個別設備による評価		-	-	-	-	-	
3.1 空調設備		3.0	-	-	-	-	
3.2 換気設備		3.0	-	-	-	-	
3.3 照明設備		5.0	-	-	-	-	
3.4 給湯設備		4.0	-	-	-	-	
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	-	